



2022 秋開館！(仮)「市原歴史博物館」

プレ 展 覧 会

◇アフター列島展◇

「我がまちが誇る遺跡・市原市篇」

市原市 天神台遺跡展

〜縄文人と海との関わりのはじまり〜



2022年

1月22日(土)~

3月13日(日)



主催 市原市教育委員会 共催 千葉県立中央博物館

会場 千葉県立中央博物館 千葉市中央区青葉町 955-2 (青葉の森公園内) TEL 043-265-3111 (代表)

開館時間 10:00~16:30 (入館は 16:00 まで) 休館日 月曜休館

入場料 一般300円 (240円) 高・大学生150円 (120円)

*中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料

() 内は 20 名以上の団体料金

問合せ 市原市教育委員会 ふるさと文化課 博物館準備室

市原市能満 1489 TEL 0436-41-9344

imuseum@city.ichihara.lg.jp



2022 秋開館！(仮)「市原歴史博物館」プレ展覧会

◇アフター列島展◇「我がまちが誇る遺跡・市原市篇」

市原市 天神台遺跡展 ～縄文人と海との関わりのはじまり～

天神台遺跡は、約7,000年前から6,000年前、縄文時代早期の終わりから前期に営まれた貝塚を伴う大規模な集落遺跡です。市原市にある国分寺台の宅地造成の際に発掘調査が行われ、多量の遺構や遺物が発見されました。遺跡の大半は住宅地や道路となっていますが、上下諏訪神社の境内には、貝塚や古墳などの一部が現在も地下に保存されています。眼下に養老川の流れや東京湾をのぞむことができる、長くムラを維持するには絶好の環境にあり、市内最古唯一の貝塚集落として極めて重要な遺跡です。

発掘調査は、1974年から1988年にかけて13次にわたり行われ、その後2006年から2013年まで整理作業を続け調査報告書を刊行、その内容を詳細に報告しました。縄文時代早期と前期のムラが広い台地上に重複せず隣り合って営まれ、気候温暖化にともなう「縄文海進」という大きな環境変化のなか、明確に異なる両時期の人びとの暮らしぶりを、出土した遺構や遺物から知ることができます。

文化庁は毎年、「発掘された日本列島」という全国規模の特別展を各地で開催しています。2021年は、天神台遺跡の資料も東京・北海道・群馬の会場を巡りましたが、この度、市原市教育委員会は千葉県立中央博物館協力により、「アフター列島展」として展示することにしました。この機に、総数約900点に拡大した展示資料を通じ、房総半島における人と海との関わりを理解いただければ幸いです。



縄文時代早期の貝製アクセサリ



縄文時代早期の大型建物跡



縄文時代早期・前期の石器

◆展覧会

会期 2022年1月22日(土)～3月13日(日)

主催 市原市教育委員会 共催 千葉県立中央博物館

会場 千葉県立中央博物館 第2企画展示室 月曜日休館 入場料 一般300円

◆講演会

日時 2022年2月19日(土) 14:00～15:30

会場 千葉県立中央博物館 講堂

内容 遺跡発掘調査の概要や研究成果、展示のテーマや見どころについて解説

講師 市原市教育委員会ふるさと文化課 博物館準備室長 忍澤成視

募集方法 メールで申し込む imuseum@city.ichihara.lg.jp

先着75名 *申込開始日:2022年2月1日(火)より

◇問合せ先 市原市教育委員会 ふるさと文化課 博物館準備室 0436-41-9344

☆コロナ対策 入館に際しては、入館確認票記入、マスクの着用、手指消毒などにご協力ください。



縄文時代前期の土器